

平成31年4月26日

赤穂市長 牟礼正稔様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田正明



平成30年度 赤穂市都市公園の事業報告について

平成30年4月1日付赤穂市都市公園指定管理者基本協定書第17条の規定に基づき、平成30年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



施設の管理運営に関する事業

(1) 公園・緑地等の維持管理に関する事業

①施設管理

施設名	施設の概要	管理実績
城南緑地 (指定管理)	面積 24.50ha 赤穂城南緑地帯	ア. 業者委託業務 赤穂城南緑地維持管理委託外 金額 27,298,411円 業者名 (株)三木組外 イ. 直営業務 低木類の刈込、補植、施肥、除草剤散布、病虫害防除、施設等の点検整備
城跡公園 (指定管理)	面積 10.00ha 緑地、広場	ア. 直営業務 低木類の刈込、病虫害防除、施設の点検整備
ピクニック公園 (指定管理)	面積 9.50ha 芝生広場、ちびっこ広場、百花園等	ア. 直営業務 低木類の刈込、病虫害防除、施設の点検整備、除草
近隣公園 (指定管理)	東浜公園 2.00ha 塩屋公園 1.70ha	ア. 直営業務 低木類の刈込、病虫害防除、器具・施設等の点検整備、除草
赤穂高山墓園 (指定管理)	面積 10.00ha (墓所区域を除く)	ア. 業者委託業務 赤穂高山墓園維持管理業務委託 金額 1,566,000円 業者名 (公社)赤穂市シルバー人材センター イ. 直営業務 施設の点検整備
千種川 河川敷緑地 (指定管理)	面積 28.50ha 交通公園、駐車場 ローラースケート場、多目的広場、少年野球場、陸上競技場、サッカー場、ゲートボール場、サイクリングロード、修景広場、花壇、ミニサッカー場、キッズパーク、野球場	ア. 業者委託業務 公園緑地維持管理業務委託外 金額 23,478,170円 業者名 (公社)赤穂市シルバー人材センター 千種川高野河川敷便所維持管理委託外 金額 120,960円 業者名 (有)大平工業所外 イ. 直営業務 除草、低木類の刈込、器具・遊具の点検及び補植、施設整備

施設名	施設の概要	管理実績
街区公園 (指定管理)	箇所数 40箇所 総面積 11.34ha	ア. 業者委託業務 街区公園樹木剪定委託外 金額 2,084,400円 業者名 わかば外 イ. 地元委託 都市公園便所清掃委託 金額 764,000円 地元名 中広自治会外 ウ. 地元管理 清掃、除草 エ. 直営業務 低木類の刈込、病虫害防除、器具・施設等の点検整備

②利用状況

千種川河川敷運動施設

区分	利用者数
千種川河川敷	27,440人
内訳	サッカー(少年) 20,170人
	野球(大人) 0人
	野球(少年) 7,270人
	ソフトボール 0人

平成30年度 赤穂市都市公園 管理委託収支決算書

収入

単位:円

内 訳	予 算	決 算	差 引
赤穂市委託料	78,570,000	77,386,882	1,183,118
合 計	78,570,000	77,386,882	1,183,118

支出

単位:円

内 訳	予 算	決 算	差 引
給料手当	4,316,000	3,940,218	375,782
賃金	2,751,000	2,642,644	108,356
福利厚生費	3,265,000	2,851,458	413,542
需用費	10,185,000	10,036,099	148,901
手数料	48,000	26,520	21,480
委託料	55,372,000	55,311,941	60,059
使用料及び賃借料	1,329,000	1,286,572	42,428
原材料費	1,146,000	1,145,978	22
什器備品費	150,000	138,240	11,760
負担金	8,000	7,212	788
合 計	78,570,000	77,386,882	1,183,118

平成30年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市都市公園(新町公園外街区公園等47ヶ所)			
所在地		赤穂市加里屋新町105番地外			
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団	指定期間	開始日	平成30年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	平成33年3月31日
選定方法		公募・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち1年目
施設設置目的		公園施設、遊具等を利用することで、健康・福祉の増進を図る目的とする。			
主な実施事業		公園施設、植栽等を適切に維持管理する。			

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	施設	H30目標	H30実績	H31目標	H31実績	H32目標	H32実績
a	利用者数	人	千種川河川敷緑地 26,000	27,440	27,000		28,000	
b	利用率	%						
c	自主事業参加人数	人	—					
d	目視確認数	人						

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		平成30年度決算	平成31年度予算	平成32年度予算	
収入計		A	77,386,882	78,010,000	78,498,000
指定管理料			77,386,882	78,010,000	78,498,000
利用料収入		C			
自主事業収入					
その他					
支出計		B	77,386,882	78,010,000	78,498,000
事業費			77,386,882	78,010,000	78,498,000
内、人件費		D	9,441,532	9,517,000	9,593,000
内、再委託料		E	55,311,941	55,757,000	56,205,000
自主事業費			0	0	0
事業収入		A-B	0	0	0
利用料比率		C/A	0.0%	0.0%	0.0%
人件費率		D/B	12.2%	12.2%	12.2%
再委託費比率		E/B	71.5%	71.5%	71.6%

- ・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
①サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守しているか。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	B
		市、体育協会、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	「業務の実施体制」に関する評価【標準18項目/本施設18項目】	B	B	
②サービスの質	施設管理	協定書等に従い、使用日、使用時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B
利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。		B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B	
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【標準20項目/本施設20項目】	B	B	
③安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【標準4項目/本施設4項目】	B	B	

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 公園施設については、2ヶ月に1回の点検を実施しており、適切に管理している。利用者からの要望、苦情処理についても、迅速にかつ適切に対応しており快適な空間づくりを行っている。		
	【所管評価】 全体的に協定書を遵守し、指定管理者として円滑な管理運営に努められたことは評価できる。利用者からの要望等においても迅速かつ適切に対応できていることにも評価できる。		
前年評価	—	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価基準項目が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価基準にCが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。